金日成名言集

朝鮮民主主義人民共和国
チュチェ108（2019）

金日成名言集

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
チュチェ108（2019）

目　　次

１．社会の発展と革命

「人類の歴史は自主性のための勤労人民大衆の闘争の歴史である」

「社会の発展過程は本質上、人間の発展過程であり、社会の発展水準は結局、人間の発展水準によって決まるものである」

「歴史の歯車は常に前進するものである」

「前進途上で障害にでくわすからといって、歴史が逆戻りする法はない」

「人類社会が資本主義から社会主義へ進むのは歴史発展の動かしがたい法則であり、社会主義の道に進んでのみ、自主的に、平和的に生きようという人類の理想を実現することができる」

「社会主義は人類の最も偉大な獲得物であり、躍動する生命力と希望を与える人類の理想である」

「社会主義はとりもなおさず朝鮮人民の生活であり生命である」

「人々が安逸に流れ堕落するならば、社会主義社会が変質をきたし、資本主義に逆戻りするおそれがある」

「資本主義社会は地主、資本家にとっては『天国』だが、労働者、農民など圧倒的多数の勤労人民にとっては『地獄』である」

「搾取と抑圧のある所には抵抗があり、抵抗のある所には革命闘争が起こるものである」

「古い社会制度を覆し新しい社会制度を打ち立てることだけが革命ではなく、思想、技術、文化の分野で古いものを新しいものにかえるのも一つの革命である」

「人間らしく生きるために闘うのが革命であり、正義のために一身を惜しみなく投げ出して永生を得るのが革命なのである」

「社会革命は、白昼に坦々たる大道を歩むようにたやすく成し遂げられるものではなく、順風に帆を揚げた船のように順調に進むものでもない」

「成功と失敗、前進と後退、高揚と挫折の絶え間ない交錯と反復の中で勝利を目指して走り続ける果てしない行路が、ほかならぬ革命であると言える」

「革命は闘争と生活を融合させ、闘争の中で美しい生活を創造して進歩と繁栄を遂げていく過程である」

「革命的転換期の急性の疼痛は、旧社会の腫瘍から来る慢性的な苦痛よりははるかに軽いものである」

「革命は輸出することも輸入することもできず、他国の人が代わって行うこともできない」

「革命は人民大衆のための事業であり、人民大衆自身の事業である」

「革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設を推し進める力も人民大衆にある」

「人民大衆を抜きにした社会などあり得ず、人民大衆の役割なくしては歴史の発展は考えられない」

「人民大衆は団結し協力してこそ、世界を改造し変革する最も強力な存在になれるのである」

「労働者階級は新しい世界の創造者であり主人である」

「インテリは、労働者、農民とともに新しい社会建設の重要な原動力である」

「強権や脅迫ではやれないのが革命なのである」

「革命は必ず、革命家の積極的で苦難に満ちた闘争を通じてのみ前進し、成熟する」

「いかなる偉大な革命も最初は少数の先覚者から始まり、彼らを中心にして1人が10人になり、10人が100人になるというように、漸次広範な大衆が立ち上がるようになってついに勝利するのである」

「人民があり、領土があり、武装があれば、革命を固守し拡大発展させていくことは十分可能である」

「反革命の攻勢と卑怯者たちの敗走がそのまま革命の退潮期となるのではない」

「チュチェの偉力はほかならぬ団結の偉力なのである」

「一国内でも、世界的範囲においても、団結した人民の力は必勝不敗である」

「一心団結と自力更生は、朝鮮革命の不滅の栄えある伝統であり、勝利の旗印である」

「一つの思想と一つの中心を持ち、革命的道義と信念に基づいてなされた統一団結であってこそ強固なものとなり、いかなる風波と試練にも打ち勝つことができる」

「団結が道徳と信義に基づかず、ただ思想・意志の共通性によるものだけであるなら、それは強固なものになり得ない」

「団結と協力は人間の生存方式である」

「長さの違う５本の指を一つに握りかためれば拳になるのと同じく、政見と信教の違う人々も一つに結束すれば大きな力を発揮することができる」

「革命伝統は労働者階級の革命偉業の完成のための貴重な革命的財貨であり、党と革命の代をつなぐ命脈である」

「烈士の闘争業績をよく知り、それを心から貴ぶ子孫であってこそ、父や祖父の世代が切り開いた革命偉業をしっかりと継承していけるのである」

２．領袖、党、大衆

「蜜蜂が女王蜂を中心に群れをなして規律正しく生活するように､集団内には必ず中心があって規律がなければならない」

「いくら有力な大衆であっても、指導者に恵まれなければ力を発揮できない」

「革命が歴史の機関車だとすれば、党は革命の機関車だと言える」

「党が偉大であり、領袖が偉大であり、国が富強であってこそ尊厳というものも生まれ、自負も強くなるものである」

「労働者階級の党は人民大衆の上に君臨する官僚機関ではなく、人民に奉仕し、人民の運命を責任を持って見守る母なる党である」

「党は人々を治める権力機関ではなく、政治的な教育者であり、組織者である」

「党政策は夜道を照らす灯火のようなものである」

「対人活動は、労働者階級の党が自己の政治を実現する基本的方式である」

「政治活動はすなわち対人活動である」

「人間の肉体は父母から授かるものだが、政治的生命は党によって与えられる」

「人間は食事をしなければ肉体的生命を維持できないように、党員は党生活をしなければ政治的生命を維持することができない」

「組織は英雄を生む家であり大学である」

「党委員長と行政幹部との関係をたとえて言えば、船の上で舵を取る人と櫓を漕ぐ人との関係に似ている」

「一人の体内にはただ一つの型の血液のみが存在するように、一つの労働者階級の党内には一つの指導思想だけが存在すべきである」

「個人英雄主義は家族主義を生み、それが助長されれば分派となる」

「人民大衆から遊離した党は、水に浮いた油のようなものである」

「大衆の中に深く根を下ろし、大衆の絶対的な支持と信頼を受ける党であってこそ、必勝不敗の威力を保有し、不断の強化発展を遂げることができる」

「党と大衆との連係は党に対する大衆の信頼に基づいて結ばれ、党に対する大衆の信頼は党の人民的な政策に基づいて生まれる」

「『以民為天』は私の持論であり哲学である」

「革命家は、人民を信頼し、人民に依拠すれば百戦百勝するが、人民を信頼せず、人民から見放されれば百戦百敗するということを座右の銘としなければならない」

「人民はわれわれの力であり、知恵であり、生命である」

「本が無言の教師であるなら、最も知恵深い博識な教師は人民である。人民の中には哲学もあれば経済学もあり、文学もある」

「人民の頭はこの世のどのような難事も解決できる知恵の泉である」

「人民大衆こそは革命の偉大な教師である」

「すべての問題は『神』や英雄によって決定されるのではなく、人民大衆によって決定されるのである」

「数千年の悠久の朝鮮民族史において、人民が悪かったということは一度もなかった」

「人民が国家であり、人民が後方であり、人民が正規軍である」

３．思　想

「社会的・歴史的運動において、指導思想は羅針盤の役割を果たす」

「チュチェ思想は人間中心の世界観であり、人民大衆の自主性を実現するための革命学説である」

「人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するというのがチュチェ思想が基づいている根本原理である」

「人間は自己の運命の主人であるということ、これがチュチェ思想の真髄であり、ここにチュチェ思想の革命的本質がある」

「すべてのことを人間を中心に据えて考え、人間に奉仕させるのがチュチェ思想の要求である」

「チュチェ思想は、人々の自主性と創意性を最大限に発揮させる最も威力ある思想である」

「思想・意識は人間の価値と品位を決め、人間のあらゆる活動を調整する」

「思想革命は革命の先行者である」

「思想を守らなくては義理や友誼も守れない」

「思想的に潔白な人は、汚水の中でも腐敗しない」

「思想が崩れれば人格も崩れるものである」

「億万の黄金をもってしても買うことも替えることもできないのが高潔な思想と精神である」

「資本家は金銭で人を動かすが、人の心は金銭では買えない」

「進歩的な思想というのはほかならぬ、人間愛、人民愛、民族愛、祖国愛である」

「思想を失った人間の姿は、目のない顔と同じである」

4．政　治

「人民大衆は政治の主人となってはじめて社会の真の主人となれる」

「政治の器が小さくては大衆をすべて包容することができず、政治家の度量が狭ければ大衆はその政治家に顔を背ける」

「人民大衆の意思に基づいて政策を樹立し、人民大衆の利益にかなうようそれを貫き、人民大衆に真の自由と権利、幸せな生活を実質的に保障するのがまさしく民主主義である」

「この世に真の民主主義はただ一つであり、それは勤労人民大衆のための民主主義、社会主義的民主主義である」

「労働者階級の党の政治は人民大衆の意思を集大成した政治であり、その根本的要求は、人民大衆の自主的権利と利益を擁護し、人民大衆を教育し団結させて、革命闘争と建設事業に自発的に立ち上がらせることである」

「大衆が支持しない路線や方略は無用の長物である」

「大衆の中に深く入り、彼らの意見に耳を傾け、大衆の創意を大いに引き出し、彼らを奮起させて提起された問題を解決していくのがほかならぬ指導芸術なのである」

「政権はあっても、自主性を喪失して他人の指揮棒に従って動くならば、そのような政権を持つ国家は事実上、自主独立国家とは言えない」

「革命と建設は自国人民の力を信頼し、自国の実情に即して、自分の方式で行わなければならない」

「政治的に自主性のない者は、他人が修正主義に陥れば自分も修正主義に陥り、他人が教条主義を犯せば自分も教条主義を犯し、他人が降服主義に陥れば自分も降服主義に陥るようになる」

「主体性を確立するというのは、現実的に提起されるすべての問題を自分の頭で思考し、自分自身の力で解決し、自国の革命の利益に即して処理していくことを意味する」

「数学には公式があるが、革命の遂行には公式というものがあり得ない。革命の遂行で必ず守るべき公式があるとすれば、それはすべての問題を自分の頭で考え、自力で処理しなければならないということである」

「どの時代、どの国にも適合する処方などあり得ない」

「自己の正しい指導思想がなく、既存の公式や他国の方式を機械的に模倣しては、社会主義を成功裏に建設することができない」

「外部勢力への依存は亡国の道であり、民族自主のみが独立と繁栄の道である」

「自主性と独自性を失い、他人がするとおりに追従するならば、路線と政策における原則性と一貫性を保つことができなくなる」

「自主性は個々人にとって生命であるばかりでなく、国家と民族の生命であり、人類共通の生命である」

「自主的立場が確固としたものであればあるほど革命家の権威は高まり、自主性が透徹したものであればあるほど革命は百戦百勝するものである」

「自力更生は、自己の運命を自力で切り開いていく自主的な人間の革命精神であり、闘争原則である」

「ドグマは自分の手足を自分で縛り上げる馬鹿げた自殺行為である」

「教条主義と民族虚無主義は双子の間柄であり、民族虚無主義に陥れば教条主義が生まれるものである」

「外国のものから学ぶべきものを学ぶ場合にも、一概にそのまま受け入れようとしてはならない。外国のものは必ず噛んでみて、口に合えば飲み下し、合わなければ吐き出してしまうべきである」

「自分自身と自国人民の力を信じない人の行き着く終着点がほかならぬ事大主義であり、事大主義の導く道は売国と反逆である」

「人が事大主義に走れば愚か者になり、民族が事大主義に染まれば国を滅ぼし、党が事大主義に陥れば革命と建設を台無しにしてしまう」

「大国主義は大国の民族利己主義であり、事大主義は小国の民族虚無主義の現われである」

「自主性に基づかない諸国間の『協力』は、不平等と従属をもたらす」

「人民政権は勤労人民大衆の自主的権利の代表者である」

「人民政権は勤労人民大衆の創造的能力の組織者である」

「人民政権は人民生活に責任を持つ戸主である」

「人民政権は勤労人民大衆の自主的で創造的な生活の保護者である」

「人民自らが樹立し、人民の絶対的な支持を受け、人民に奉仕する国家と政府は常に勝利する」

「国をなくし主権を持たない民族は迫害と苦役を免れることができない」

「人権は社会的人間の自主的権利であり、人間の自主的権利を十分に保障する社会が発達した社会である」

５．軍　事

「国防における自衛は、国の政治的独立と経済的自立の軍事的裏付けである」

「自衛力のない国家は事実上、完全な独立国家とは言えない」

「銃を抜きにした自主性はあり得ず、銃が錆つけば人民が奴隷になる」

「国力も銃から生まれ、民族的自負も銃から生まれる。軍隊が強くてこそ国が興隆し、民族が繁栄する」

「敵を精神的に圧倒すれば、勝利は必然的にもたらされるものである」

「必勝の信念に欠け、闘志を失くした軍隊にとって、兵器と技術は全く無力なものである」

「軍人の戦闘成果は戦場ではなく、平時の生活ですでに決まるものである」

「戦いはつまるところ、知恵と知恵の対決であると同時に、信念と信念の対決、意志と意志の対決、勇気と勇気の対決でもある」

「部隊内で参謀部が人間の頭脳の役割を果たすとすれば、政治機関は心臓の役割を果たすと言える」

「指揮官の肝がすわっていれば兵士たちも肝がすわり、指揮官が確固たる信念を持っていれば兵士たちの信念と意志も揺るがないものである」

「魚が水を離れては生きていけないように、遊撃隊は人民を離れては生きていけない」

「軍と民は針と糸のような関係であって、いかなる環境にあっても一心同体とならなければならない」

「軍民一致や官兵一致は規定や原則だけではなし得ない思想・感情の一致性である」

「全国をハリネズミのように要塞化すれば、なんぴともあえてわれわれを侵すことができない」

「戦争は力の対決にとどまらず、道徳と倫理の対決でもある」

「戦争の運命は武器や軍隊の数量上の優位によってではなく、戦争に参加する軍人と人民の精神的・道徳的準備状態によって決まる」

「正義のために戦う人民は常に勝利し、不正義の戦争を行う侵略者は常に敗北するものである」

「平和はわが方の力が強大になってこそはじめて保障される」

「平和は、ただ、帝国主義者に反対する断固たる闘争を通して勝ち取らなければならない」

「奴隷的屈従のもたらす平和は平和ではない」

「すべての人が思想的にも肉体的にもしっかり準備されている国は強く、したがってそういう国は侵略者といえどもみだりに手出しすることができない」

６．経　済

「経済的自立を目指す闘争は、経済的立ち後れと貧困を一掃し、民族の完全な自主権を実現するための第二の解放闘争である」

「自立的民族経済を建設するというのは、自らの力に依拠して独り立ちできる経済、自国人民に奉仕する経済を建設することを意味する」

「経済的従属は政治的従属を生み、経済的不平等は政治的不平等をもたらす」

「自力更生の革命精神を持たなければ自分の力を信じなくなり、国内資源を動員しようとする努力もしなくなり、結果的には国の経済を速やかに発展させることができなくなる」

「強固な自立的民族経済なくしては自主権を行使することができず、思いどおり発言し、行動することもできない」

「国境があり、それぞれの国に課された革命課題があり、各自の経済を有している条件の下では、自分のものがなければならない」

「社会主義社会で最も大きな潜在力は、生産と管理の主人である勤労者の頭の中にある」

「社会主義経済は計画経済であり、均衡経済である」

「社会主義はとりもなおさず統計であり、計画化である。統計なくしては計画の作成は不可能であり、計画なくしては社会主義を建設することができない」

「社会主義国家の財政は人民が働いて得た財貨を人民のために支出するものである」

「家庭でも家事の切り盛りをうまくするためには、誰か一人が家計を預からなければならないように、国の経済管理を几帳面にするためには、国の財政を唯一管理制の原則に従って管理しなければならない」

「社会制度がいかにすぐれていても、国の経済管理を手際よく行わなければ豊かな暮らしができない」

「労働は社会の富を創造し、人民の幸福な生活を保障する源であり、人々を革命化、労働者階級化し団結させる手段である」

「電力工業と鉄道は人民経済の先行者である」

「石炭は工業の食糧であり、黒い金である」

「重工業のための重工業ではなく、軽工業および農業の発展と、人民生活の向上によりよく奉仕できる重工業を建設しなければならない」

「農村問題は一言でいって農民問題、農業問題であり、これは都市と農村との差、労働者階級と農民との階級的差をなくしてのみ、最終的に解決される」

「個人農経営の時には、主に個々の農民が各自の経営と生活に対して責任を負ったが、協同化された後には、党と国家が責任を持って協同農場の発展と農民の生活を援助すべきである」

「穀物の問題はとりもなおさず政治問題である」

「トウモロコシは畑作の王者である」

「山をひかえている所では山の幸をとり、海をひかえている所では海の幸をとって暮らすようにすべきである」

「草を肉に換えよう」

「社会主義商業は人民への供給活動であり、人民への奉仕活動である」

7．文　化

「教育は人々を、知・徳・体を兼備した社会的人間に育成する事業である」

「社会主義教育は、社会の全構成員を幼年から老年に至るまで生涯にわたって教育する、全面的かつ永続的な教育とならなければならない」

「教育事業は、次世代の幸福と祖国の繁栄のための最も張合いのある誇らしい事業である」

「教師は学生・生徒の鑑である」

「政治的問題は多数決で決定することができるが、科学・技術上の問題はそういう方法で決めてはならない」

「一人だけが知っている科学はなんの役にも立たないものであり、そういうものは奇術であって科学ではない」

「技術は知らない時は難しくて神秘なもののように思えるが、知ってみればなんでもない」

「技術のみを知り、政治に無知な技術者は真の技術者ではなく、使い道がない」

「現代文学は、人民を正義の偉業へと励ますのろしとなり、戦争狂を懲罰する鉄槌となるべきである」

「文学は人間生活の教科書、人民の闘争の旗印となるべきである」

「真実を反映することによって人民大衆を美しく崇高な世界へ導くのが、ほかならぬ文学・芸術の真の使命である」

「人間が人間らしく自主的に生きていくのに必要な真の思想と真の道徳、真の文化をもたらすのが、ほかならぬ現代芸術の基本的使命である」

「どんな美辞麗句を弄しても、時代と人民の要請が反映されていない作品は無意味である」

「一編の立派な詩や演劇や小説は万人の心を揺さぶることができ、革命的な歌は銃剣の及ばない所でも敵の心臓を射ぬくことができる」

「芸術は生活の中から生まれ、生活を反映する」

「芸術においては技巧も重要であるが、それよりもさらに重要なのはリアリティーである」

「人民は真の芸術の享受者であるばかりでなく、真の創造者である」

「歌は革命的楽観主義のシンボルであり、革命勝利のシンボルである」

「歌声が高ければ革命隊伍が興起し、精強になり、歌声の高い所に必ず革命の勝利がある」

「激戦場で歌を歌うのは強者だけがなしうることである」

「歌いやすいメロディーに人民の生活と感情をリアルに反映した歌であってこそ、人民に好まれ、愛唱される」

「自主的人間の生活と時代の要求を正しく反映した映画芸術のみが、生活の先導者、闘争の武器としての使命を果たし、人類文化の宝庫を豊かにするのに寄与することができる」

「映画はアピール性に富み、現実に先がけて進まなければならない」

「主体的な文化とは、自民族の特質と自国革命の利益に合致する文化であり、人民大衆がその創造者、享受者となる文化である」

「文化と芸術の創造において民族的形式と社会主義的内容を結合させるというのは、朝鮮人が好み、朝鮮人の感情と情操に合った文化・芸術形式に革命的な内容を盛り込むことを意味する」

「作家は社会生活の代弁者であり、人間精神の技師である」

「作家が正義の筆鋒を高く掲げる時、それは圧制者の鉄鎖や銃砲にまさる強力な武器となる」

「出版物は、党と大衆を結びつける重要な手段であり、党の打ち出した政治・経済・文化建設の課題の実践へ勤労大衆を動員する有力な武器である」

「新聞は大衆が眠りから覚める前に目覚めて警鐘を鳴らし、東天が明るむ前に夜明けを告げることを重要な使命とすべきである」

「新聞は時代の先駆者であり、正しい世論の組織者である」

「新聞は時代の要請をいち早くとらえる鋭い触覚を備え、社会の真の目となり耳にならなければならない」

「進歩的ジャーナリストと言論人の筆鋒は帝国主義者に反対する威力ある武器となり、その文章は平和の敵を断罪する告発状とならなければならない」

「通信は社会の耳と目であり、社会世論の代弁者である」

「誰でもみな理解できるように書かれた文章であってこそ、立派な文章だと言える」

「出版物は革命闘争の有力な武器の一つであり、その武器の射程距離は無限である」

「勤労者の壮健な体力は、革命闘争と富強な祖国建設のための基礎である」

「健康の秘訣は楽天的に生活することにある」

「スポーツ競技で集団的英雄主義は、勝利の確固たる裏付けである」

８．祖国と民族

「人間にとって、母親が自分を生み育ててくれた慈愛深い懐であるなら、祖国は真の生と幸福を開花させてくれるわが家である」

「この世に、愛国愛族の心ほど偉大かつ清純で神聖な感情はない」

「祖国と民族を愛さない人は、自国の革命に熱情を持つことも、その勝利のために献身的に闘うこともできない」

「ひたすら祖国のために泣き、笑い、血を流し、全身全霊を捧げた人だけが、祖国の真の貴さを知ることができる」

「最も普遍的な人間評価の基準があるとすれば、それは祖国愛と民族愛、人民愛、人間愛である」

「人間を貴ぶ人が民族を愛し、民族愛の強い人が祖国を愛する」

「最大の悲しみは亡国の悲しみであり、亡国の民となって祖国を離れる悲しみである」

「滅んだ国の屋根の下では、国を売り渡した代価として

贅沢三昧に暮らす売国奴も安らかに眠れないのである」

「科学技術知識は人類共同の財産であるが、知識人は祖国と民族を離れては存在し得ず、真の生を開花させることができない」

「祖国の運命はとりもなおさず民族の運命であり、内外のすべての朝鮮同胞の運命である」

「亡国の悲しみに痛哭する前に、祖国を一層富強にし、石くれ一つでももっと拾って城塞を高く築け」

「力のある人は力で、知識のある人は知識で、金のある人は金で建国事業に積極的に貢献すべきである」

「民族的自尊心と信念を持たない民族は滅びても、民族の誇りと勝利への信念を持っている民族は不敗である」

「愛国心は祖国の過去をよく知り、自民族のすぐれた伝統と文化と風習をよく知ってこそ生まれるものである」

「故郷や父母妻子を愛さない人は、祖国と人民を愛することができない」

「革命に献身することこそ、家庭に対する最高の愛である」

「国と家庭をともに愛する人であってこそ、本当の孝子と言える」

「家庭は愛国心と革命精神の泉であり、原点である」

「家庭を愛する心が冷める時、革命家の闘争意欲も同時に冷めるのである」

「国が逆境に陥れば家庭も平穏であり得ず、家庭に影がさせば同時に国の表情も暗くなる」

「家庭を愛する心は革命家を闘いへ奮い起こす一つの原動力である」

「家庭が睦まじければ万事がうまくいく」

「郷土愛に燃える人は祖国愛も強く、祖国愛の強い人は革命に対する熱意も高いものである」

「民族問題は本質において、民族の自主性を擁護し実現する問題である」

「革命も民族のために行い、武装闘争も民族を守るために行うのである」

「民族語は民族の精神とも言える」

「言語を失えば、民族は死滅するのである」

「歴史は墨で塗りつぶせるものでもなければ、火で焼き捨てたり、剣で切り捨てたりできるものでもない」

「歴史遺跡と遺物は民族の財宝であり、代を継いで伝えるべき遺産である」

「朝鮮革命を遂行するのは朝鮮人民の基本的任務であり、また、朝鮮革命を立派に遂行するのは国際主義的任務にも忠実なことである」

「祖国統一の唯一の活路は全民族の大団結である」

「民族の運命は、国を愛し民族を貴ぶすべての愛国勢力の団結と、民族あげての闘争によってのみ救うことができる」

「対決と競争はとりもなおさず分裂の道であり、団結と合作はまさに統一の道である」

「全民族が和合し一つに団結するならば、それがすなわちわれわれの願っている祖国の統一である」

「民族団結の精神は愛国愛族の感情のうちでも、その精髄をなす最高の精神である」

「主義主張や理念にこだわっていては民族の団結を成し遂げることはできない」

「統一は民族自主、愛国愛族の立場であり、分裂は外部勢力依存、売国背族の立場である」

９．世界の自主化

「世界の人民が自主性を求め、多くの国が自主の道へと進むのは、いかなる力をもってしても阻むことのできない、われわれの時代の基本的趨勢である」

「侵略と戦争、支配と従属がなく、すべての国の人民がともに発展し繁栄する、自主化された世界こそが人間の理性と本性にかなった世界なのである」

「自主、平和、親善は人類共通の崇高な理念であり、これは、全世界の自主化を目指す闘いにおいて世界各国人民の団結の基礎となる」

「全世界の自主化を目指す闘いは本質上、自主性に基づく国際関係を確立し、国際社会を民主化する闘いである」

「世界革命の勝利は各国における革命の勝利を通じて実現される」

「党相互間に親と子、祖父と孫、長兄と弟といった関係はあり得ない」

「世界には大国と小国、大きい党と小さい党はあっても、地位の高い国と低い国、格の高い党と低い党はあり得ない」

「国の大小と社会体制にかかわりなく、他国を統制しようとする国はすべて支配主義勢力であり、公然であれ非公然であれ、他国を支配するのはすべて支配主義である」

「侵略と略奪は帝国主義の本性であり、戦争は帝国主義の生存方式である」

「旧勢力は、滅亡が近づくほど狡猾さと悪辣さを増すものである」

「帝国主義は肥え太れば太るほど野望と貪欲がますます増し、他国に対する侵略と略奪行為が一層執拗かつ横暴になる」

「前を向いては手を握り、向き直っては不意討ちを食らわすのがほかならぬ帝国主義者の本性なのである」

「人種差別と人間憎悪は帝国主義者に固有の思想である」

「人間を野獣化、不具化、奇形化するのが帝国主義者の本性である」

「強者の前では卑屈になり、弱者の前では凶暴になるのが帝国主義者である」

10．未来と新しい世代

「未来を愛さない革命、未来を育まない革命は、前途の暗い革命である」

「理想のない人、未来を愛さない人は革命家にはなれない」

「幸せな未来はおのずと訪れるものではなく、闘いによって創造し、勝ち取らなければならない」

「次世代への愛情は人間の愛情のうちでも最も献身的かつ積極的な愛情であり、人類に捧げられる頌歌のうちでも最も純潔で美しい頌歌である」

「育ちゆく新しい世代が革命を続けてこそ、革命の代を継いでいくことができ、われわれの崇高な革命偉業を完遂することができる」

「立派な烈士の下からは、立派な新しい世代が育つものである」

「育ちゆく新しい世代はわれわれの未来である。新しい世代がなければ国の将来もなく、社会の進歩も考えられない」

「次世代は革命の花であり、民族の花、人類の花である」

「若い頃は高遠な理想を掲げ、その実現を目指し万難を排して頑強に闘わなくてはならない」

「夢が多く理想が高くてこそ、偉大な発明もするものである」

「夢もなく、胆力もなく、情熱も、覇気も、闘志も、ロマンもない青春は青春とは言えない」

「骨の折れる仕事の先頭に立って進撃の突破口を開くのは、青年のこの上ない誇りである」

「青年の高貴な生は個人の享楽にあるのではなく、人民の幸せのために身を投じて闘うところにある」

「青年は幸せを享受するのを望むだけではなく、幸せを手にするための聖なる闘いの旗手にならなければならない」

「幸福であればあるほど、青年は搾取され抑圧されてきた父や母たちの過去を忘れてはならない」

「わが国では子供が王様である」

「安っぽい人情をもってしては少年たちを闘士に育てることができない」

「幼い頃の苦労や他人から受けた愛の思い出は一生忘れられないものである」

11．信念と良心

「信念は革命家の生命である」

「革命的信念と意志と楽観は革命家の３大特質、革命家の思想的・精神的品格をなす３大要素と言える」

「強固な土台に支えられた信念とは、自分の貴ぶ理念に対する絶対的な信頼であり、その理念のためであれば餓死、凍死、殴死の覚悟までしている、そういう信念である」

「信念の強い党は変質せず、信念の強い国家は崩壊せず、信念の強い人民はくじけないのである」

「信念の歌を高らかに歌い、ひたすら前進する人民であってこそ、自主時代の高峰をきわめることができる」

「願望だけでは進めることのできないのが革命であり、社会主義偉業である。信念が強くてこそ、自分自身を守り、社会主義も固守することができる」

「思想と信念の強い人間であるほど生きる目標が明確で、その目標を達成するため誠実に努力する」

「信念と意志の強い人間ほど、政治的生命の維持では長寿者になる」

「目は現実を見るが、信念は未来を見る」

「決心さえすれば力を養うことができ、力を養えば強敵もゆうに退けることができる」

「信念を持って革命に参加した楽天主義者は、横からどんな風が吹きつけようと動揺しない」

「信念と気骨のない二股膏薬の人間の運命は自滅のほかにない」

「信念が崩れれば精神が死に、精神が死ねば人間そのものが無用の長物になる」

「思想や信念が変われば、義理や人情も同時に変わるものである」

「信念のない知識や文才は無用の長物にすぎない」

「革命的な組織生活と実践活動、不断の教育と自己修養の工程を踏まない信念や意志は砂上の楼閣に等しい」

「練磨の過程を十分に経ていない信念は、やがて腐敗し変質してしまう」

「思想・意志、道徳・信義とともに、ロマンを宿した情操を持ってするのが革命なのである」

「革命家は逆境を笑いをもって乗り越え、禍を転じて福となす人、天がそっくり崩れ落ちても這い出る隙はあると信ずる楽天家となるべきである」

「兵士の楽天性が指揮官の信念によって左右されるように、人民大衆の楽天主義は指導者の信念と胆力によって決まる」

「一生を期待と希望の中で生きる人は長生きするものである」

「真実を尊び愛を礼賛するのは人間本然の性である」

「良心を持つ人間であってこそ革命家になり、良心に錆がつくと信念にも錆がつき、良心にひびが入ると信念にもひびが入り、闘志が麻痺する」

「良心を捨てた人間には、道徳も信義も犠牲的精神も正義感も誠実さもあり得ない」

「革命は人間の良心を守り、輝かす闘いでもある」

12．道義と同志愛

「人間の社会的本性は互いに嫉視反目し争うことにあるのではなく、互いに協力しつつ世界の主人、自己の運命の主人として自主的に生きることにある」

「人間がこの世で最も高貴な存在となるのは、理性と良心、道徳と信義を持った存在であるからである」

「革命家は人間愛と同志愛、人民愛を武器にしてこの世の中を改造し変革するために立ち上がった闘士である」

「人間性に欠けた冷淡な幹部は人民に心から愛されることも、人民と一体になることも、人民に忠実に奉仕することもできない」

「われわれが進める革命は人間を愛し、保護し、人間性を固守し、それを最大限に発揚させるための革命である」

「財産が多くても仁徳がなければ世間から遠ざけられる」

「粗末な家に住んでも仁徳が高ければ、大勢の友人を持ち、人々に尊敬される道徳的な富者になれる」

「真の人情は広壮な屋敷ではなく、庶民の住む粗末な家にある」

「信義ゆえに人間は気高い存在となり、信義ゆえに人間生活は百花咲き乱れる花園のように美しくなるのである」

「法の不可とするところを代わって果たすのがほかならぬ信義と道徳なのである」

「人を疑うのは一種の排外主義であり、人を信ずるのは最善の人道主義と言える」

「ちりほどの不信が一生の恨みを買い、10年来の友情にも瞬時にひびが入るのである」

「組織と同志から自分が信頼されていると思う人は、党と祖国のために底知れない力を発揮することができる」

「点検は、同志を信頼しないからではなく、さらに信任を厚くするために行うのである」

「愛は情熱の泉、創造の原動力であり、生活を美しく彩る染色素である」

「愛情を貫く精神が真実で高潔であってこそ、その愛情は永遠かつ神聖なものになりうる」

「革命家の倫理からすれば、多くの任務を与えるのが最大の愛情であり、最高の信頼の表示である」

「叱っても鞭で打っても痛くないのが母の愛情であり、

子供のためなら空の星でも取ろうとするのが母の愛情である」

「真の愛情と信頼がある所では、処罰はむしろ一種の信頼の表示となる」

「革命は同志を得ることから始まる」

「同志という言葉は、革命家の間で交わされる栄誉ある貴い称号であり、革命の戦友に対する信頼と愛情の表示である」

「同志愛は革命家の資質を検証する試金石である」

「人間関係において最も貴重なものは革命的同志愛であり、いろいろな愛の中で最も価値あり貴重な愛は革命同志間の愛である」

「同志を得れば天下を得、同志を失えば天下を失う」

「資本家の元手は金であるが、革命家の元手は同志である」

「革命家にとって第一の喜びは同志を得ることであり、最も悲しいのは同志を失うことである」

「弾雨の中で結ばれた友情より真実で強く熱い友情はない」

「思想・意志の上で結ばれた同志の関係は永遠であり、そのような同志の関係は銃弾によっても、断頭台によっても断ち切ることができない」

「志さえ通ずれば、百万の金をもってしても得られない友情を一杯のおこげ湯や一粒のジャガイモで得られるのである」

「真の同志は第二の『私』だと言える」

「真実の友情や愛には老衰も変質もない」

「金から友情は生まれないが、友情からは金でもなんでも生まれる」

「国と集団、同志と隣人のために善いことをしない人には、良い友人ができない」

13. 人生と幸福

「人生の貴重さは、それを人民のために、人類のために誉れ高く捧げることにある」

「人生の第一歩を祖国と人民のために、人類のために踏み出した人は、人生の終末も祖国と人民のために、人類のために結ばなければならない」

「人の生きがいは、祖国と人民のために有益なことをたくさんすることにある」

「この世に生まれた人間にとって、祖国と人民、党と領袖に忠誠を尽くすこと以上に光栄かつ誇らしいことはない」

「人民の愛情に包まれて生きる人間は幸せであり、そうでない人間は不幸である」

「真の生は愛国愛族にある」

「自分の祖国を持ち、自分の力で生活を創造する人民こそ真に幸福な人民である」

「身はたとえ異国にあろうとも、常に祖国のためを思って生きる人が真に生きる人である」

「他人を愛することのできる人だけが他人からも愛されるのであり、睦まじい集団生活を営むことができる」

「自分のためにのみ生きる人は、親友も、同志も、隣人も、民族も、国もためらわず売るものである」

「人間にとって肉体的生命も貴重であるが、政治的生命はそれとは比べようもなく貴重なものである」

「社会的・政治的生命のない人は哀れな存在である。政治も、国のことも、社会のことも関知せず徒食するだけの人にはなんの生きがいもない」

「生きるにしても清く生き、死ぬにしても潔く死に、汚らわしい生き方はしないという人生観を持つ人であってこそ革命を行うことができる」

「人は命があるからといって生きているのではなく、民族の良心を持ち、正義のために闘うところに真の生がある」

「たとえ一日を生きるとしても、清く甲斐のある生き方をすべきである」

「人にとって革命を行って死ぬことより張り合いがあり、栄誉あることはない」

「明日の幸せのために今日の苦難を甘受し耐えしのぶことに生きがいを感じるのが、ほかならぬ革命家の楽しみである」

「人間が味わう楽しみのうち、他人を助けることより大きな楽しみはない」

「人々の誇りと張り合いはどんな仕事をするかにあるのではなく、自分の持ち場で祖国の富強発展にどれほど貢献するかにある」

「革命家は私心があってはならず、ひたすら祖国と人民のために黙々と一生を捧げることに生きがいと幸せを見いだすべきである」

「人民大衆の利益より貴重なものはなく、人民の自由と幸福のために奮闘することより張り合いのあることはない」

「幹部はいかなる名誉や評価も望まず、人民の幸福と理想を実現させることに生きる価値と誇りを見いだすべきである」

「幸福と美しい生活は自分の手で創造しなければならない」

14. 学習と実践

「革命家にとって学習は第一の任務である」

「勉強をどうするかということも重要であるが、それよりもなぜ勉強をするかということを知ることがより重要である」

「書物は人々に知識を与え、真理を悟らせる無言の師である」

「思索のない人間には創意が生まれず、創意のない所に創造と革新があり得ない」

「精神的糧の豊かな人はどこで何をしようと、必ず革命のために大きな偉勲を立てるものである」

「革命家にとって知らないのに知っているふりをし、知らないのに知ろうと努力しないことほど恥ずべきことはない」

「知識は前進の裏付けである」

「知識があれば工夫も生まれるものである」

「才能は磨くほど輝く」

「人は見聞が広くてこそ大事を成し遂げることができる」

「豊富な知識も革命的信念に裏付けられてこそ、あくまでも新しいものを開拓していく真の創造力となるのである」

「科学知識の所有は人間の全面的発達の重要な条件であり、科学的世界観確立の基礎である」

「本質を把握していない知識は、行動の指針となるのではなく妨げとなる」

「理論は具体的な実践と結びついてこそ生命力を発揮し、実践は必ず革命的な理論によって指導されてこそ成果を収める」

「実践は認識の起点であり、真理の基準であり、理論発展の推進力である」

「実践というものは常に理論よりも生々しく力強い信頼を与えるものである」

「知識があっても、それを活用できない人は『持ち腐れ文庫』も同然である」

「書物から得た知識は、現実の中で実践を通じて検証されてこそ、役に立つ生きた知識になるのである」

「知識と技術は国の発展と人民の幸福のために利用されてこそ価値があり、輝くものである」

「どんな問題でも妙案はすべて実践の中から生まれる」

「人は闘争の中でのみ、いかに生きるべきかという貴重な真理を悟るものである」

「闘争を行ってこそ思想が強くなる」

「苦難と試練は万福の母である」

「失敗も経験である。失敗の中からよい方法が生まれるものである」

印刷＝朝鮮民主主義人民共和国
ㄱ－198230

E-mail:flph＠star-co.net.kp
http://www.korean-books.com.kp